



MS341-28034/5/6/7 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDエスティマ用フロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-28034/6-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	エスティマ '16.06～ マイナーチェンジ以降
MS341-28034/6-C0	ブラック (202)	
MS341-28034/6-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	
MS341-28035/7-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

以下、MS341-28034/5構成部品

N°	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	Jナット	8	(8個中4個LEDランプ用)
③	タッピングスクリュー	4	5×16
④	タッピングスクリュー	4	5×12 LEDランプ用
⑤	ゴムワッシャー	4	内径8mm、外形16mm、t=1mm
⑥	型紙	1	
⑦	取付・取扱要領書(本書)	1	本書
⑪	デイトイランニングランプセット	1	81430-GR500

以下、MS341-28036/7構成部品

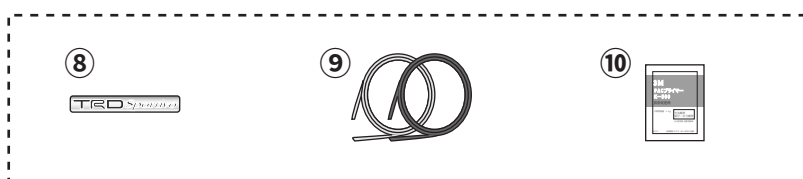
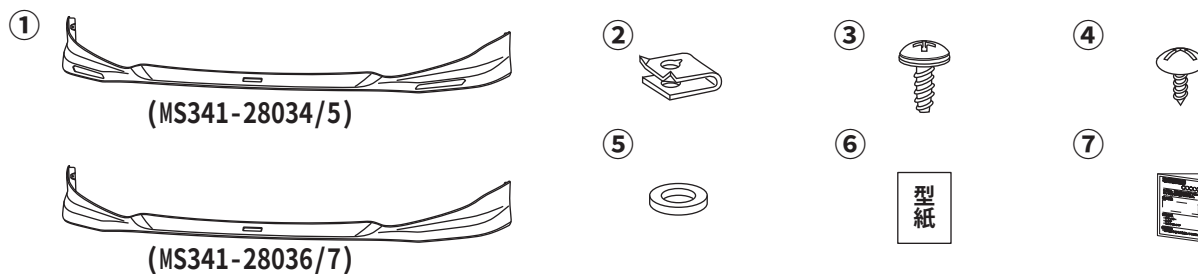
N°	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	Jナット	4	
③	タッピングスクリュー	4	5×16
⑤	ゴムワッシャー	1	内径8mm、外形16mm、t=1mm
⑥	型紙	1	
⑦	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

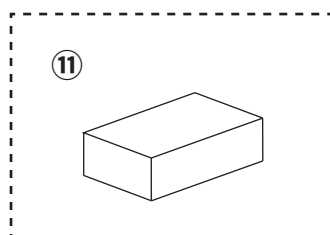
以下、MS341-28035/7-NP(未塗装品セット)のみに同梱

N°	品名	個数	備考
⑧	エンブレム	1	
⑨	モール	(各1)	黒/グレー L=1700mm
⑩	PACプライマー	1	K-500

■ 構成部品図



⑧～⑩は未塗装品にのみ同梱



⑪はMS341-28034/5にのみ同梱

お客様用取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みいただき、正しいお取扱いをお願い申し上げます。



警告

ここ記載されている事をお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながる恐れがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

⓪ やってはいけないこと

❗ 必ずお守りいただきたいこと

- ⓪ 購入後の改造は重大な事故や故障を招く危険性がありますので絶対に行わないで下さい。
- ⓪ 本商品の近くに高温になるものや、裸火を近づけないでください。変形や火災などの原因になります。



注意

ここに記載されている事をお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながる恐れや、正しい性能を確保できない場合があります。

- ❶ 本商品は路面とのクリアランスが狭くなり、縁石などの段差やスロープ・悪路・不整地など路面との干渉が起こりやすくなります。また積雪時にラッセルしたまま走行したり、凍結(着氷)状態で使用した場合、破損する恐れがあります。あらかじめご了承ください。
- ❶ 本商品の装着によりガレージジャッキが指定の位置で使えなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ❶ フラップ式(跳ね上げ式)のコインパーキングなどにお車を駐車する際は、駐車場のフラップ板が製品に干渉しないか十分に確認してください。部品が損傷する恐れがあります。
- ❶ クルマの乗り降りや保管場所などで、製品に無理なチカラや荷重が掛からないように注意してください。製品の剥がれや浮き・破損の原因になる場合があります。
- ❶ 本商品を装着後に衝突や強い衝撃を受けた場合、取付け部位や本体に変形・破損・故障が生じる場合がありますので、直ちに使用を中止して、トヨタの販売店か自動車整備工場にて点検を受けてください。

■ 本商品は1年・20,000kmの保証を実施いたします。(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで) 保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

■ 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

■ 走行や取扱いにより発生した外的要因(*1)が原因の製品不具合や、それにより車両本体等への損傷が発生した場合のクレームには応じかねます。

(*1) 飛石・塩害・酸性雨・鉄粉・鳥糞・煤煙・降灰・薬品等の飛沫・もらい錆・事故及び、台風・水害・高潮・地震・噴火等の天災による事故

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(I P A)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

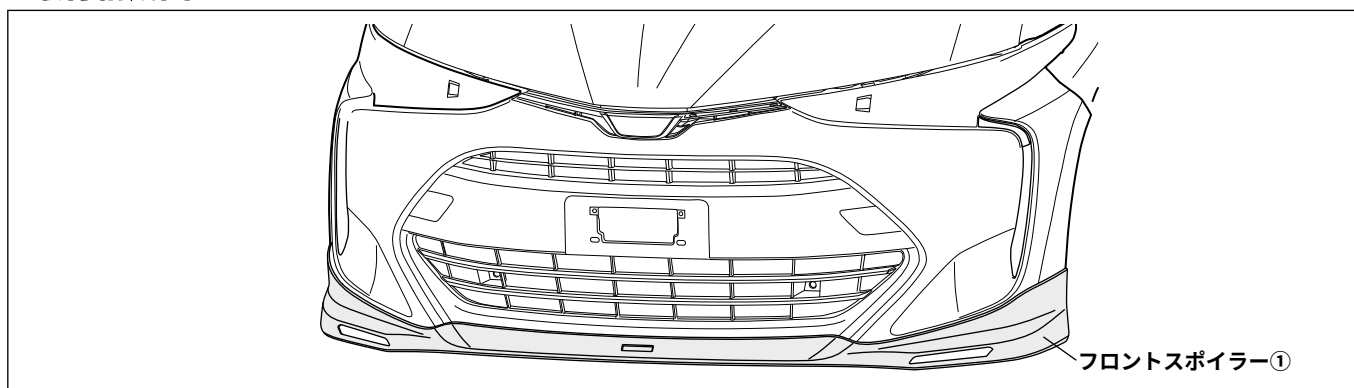
■ 目次

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 | 1～2 |
| 2. 取扱い上のご注意(お客様へ) | 3 |
| 3. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) | 4 |
| 4. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 | 5 |
| 5. 取付け要領 | 5～10 |
| 6. 取付け後の確認・点検 | 11 |

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

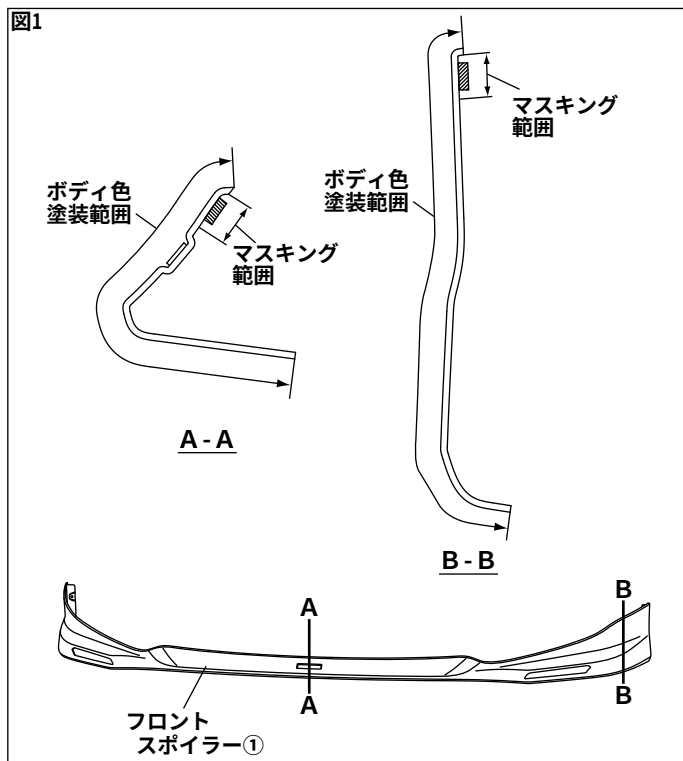
- ・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、キリ等）
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図



■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-28035/7-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



□ フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにフロントスポイラー①をボディ色で塗装する。

⚠ 注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

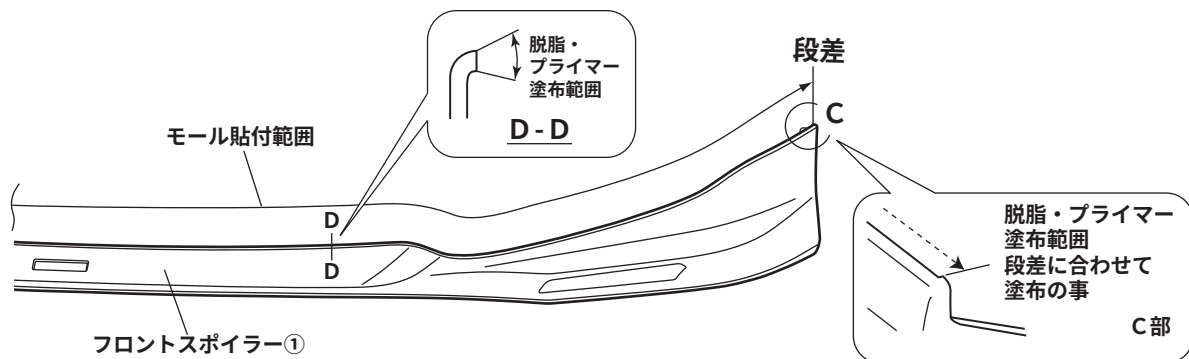
⚠ 注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠ 注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼付け

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図2

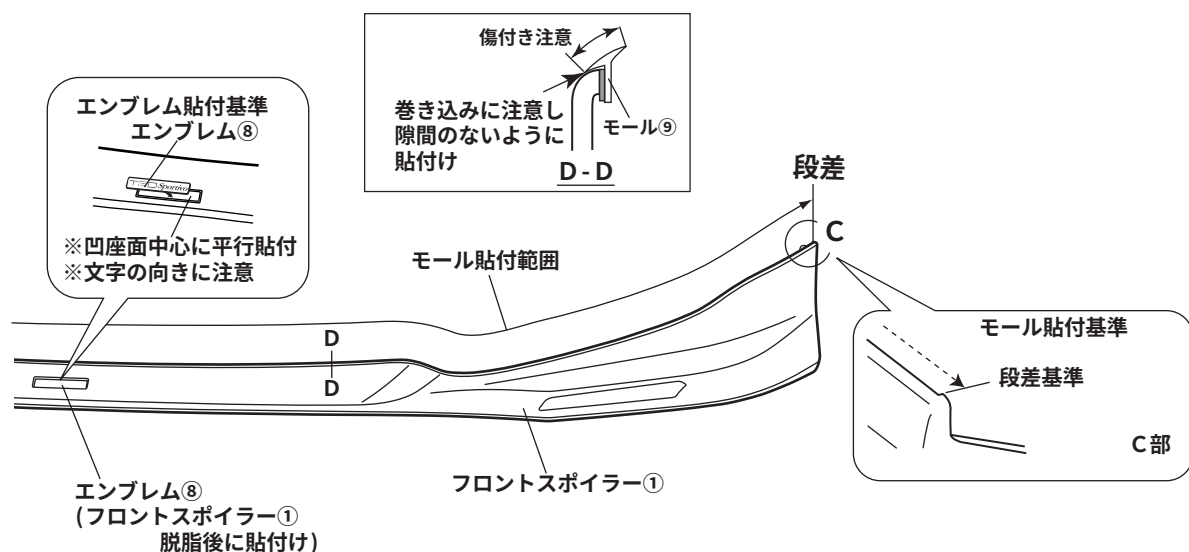


1. 図2のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑩を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図3



2. 図3のようにフロントスポイラー①に、モール⑨の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

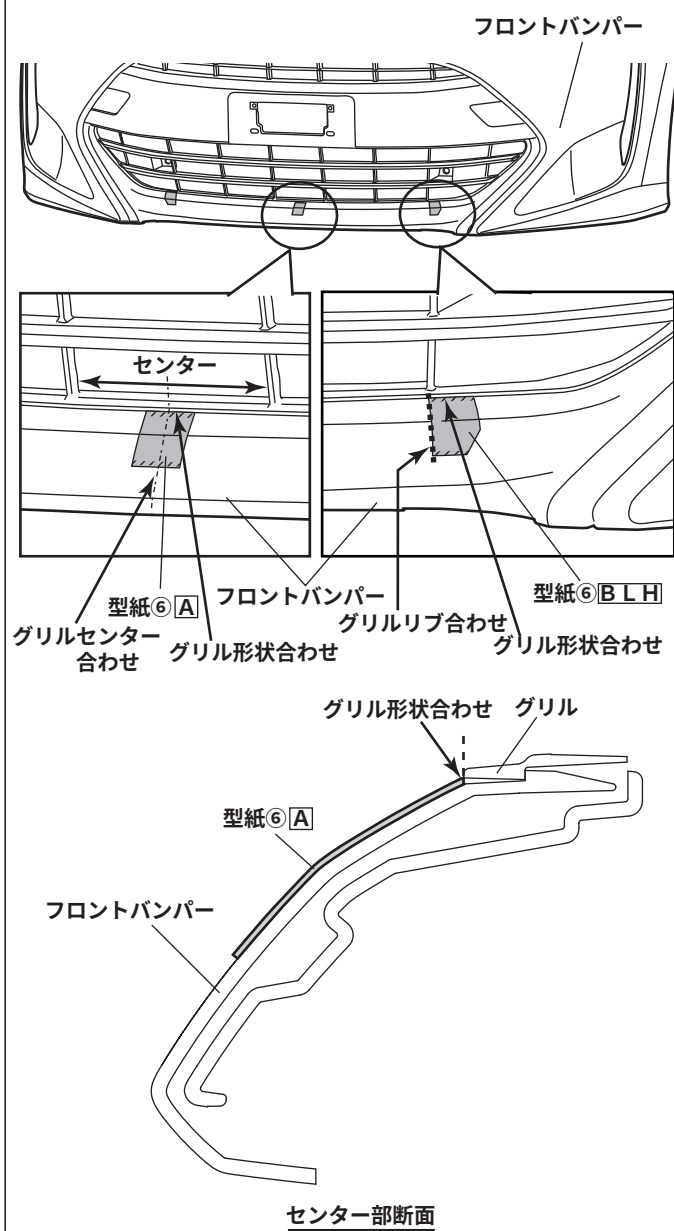
3. 図3のように脱脂した座面にエンブレム⑧を貼付ける。

👉アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：モール⑨は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

図4

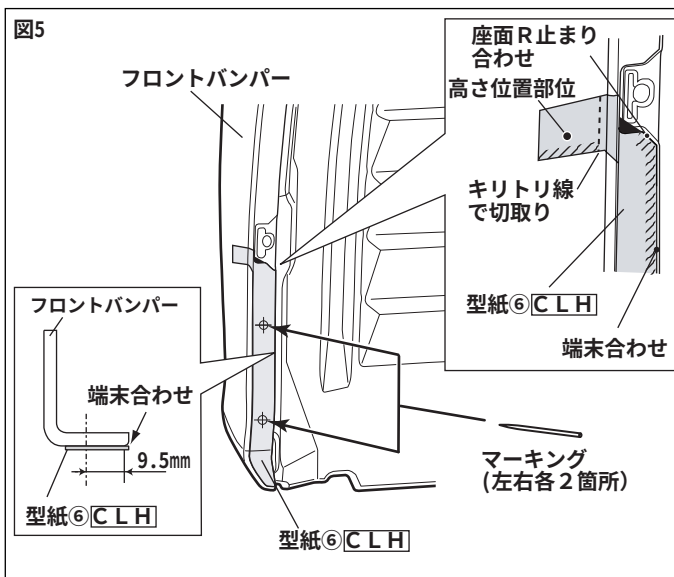


□取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図4のように型紙⑥A、型紙⑥BLH、BRHを切り取り、フロントバンパーのロアグリル部の形状を基準に貼付ける。
(中央部1箇所)
(左右各1箇所)

図5



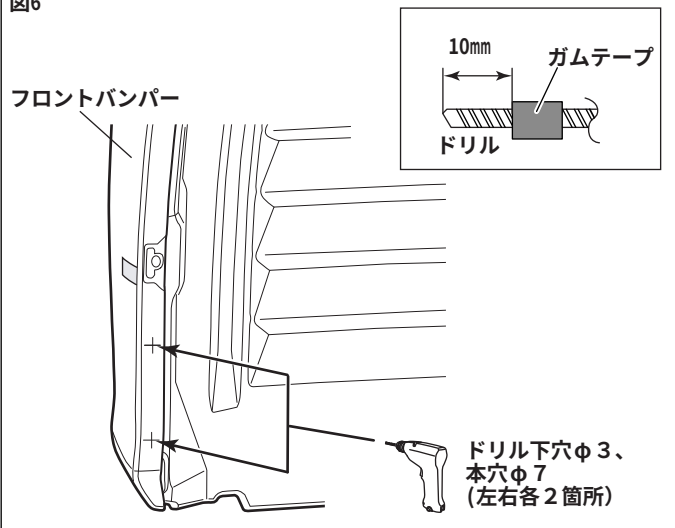
2. 型紙⑥CLH、CRHを、図5のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼付けマーキングする。
(左右各2箇所)

3. 図5の高さ位置の部位を残してキリトリ線で切り取り、型紙を剥がす。(左右各1箇所)



アドバイス：フロントバンパー端末からの距離を測り、異なる場合は、マーキングをやり直してください。

図6



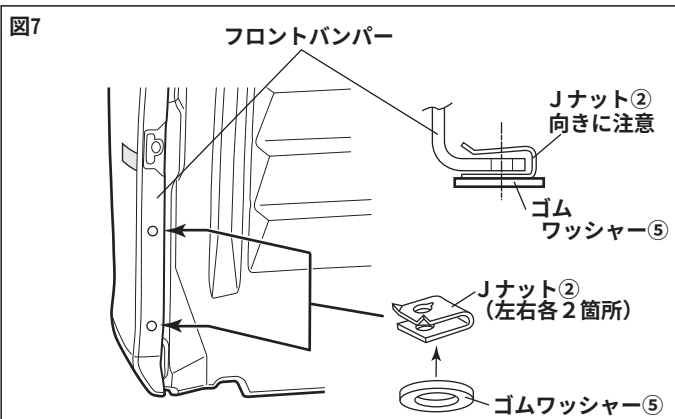
4. 図6のようにφ3、φ7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各2箇所)
5. 図6のように下穴にφ7のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各2箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意：作業時は保護メガネを着用してください。

注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図7



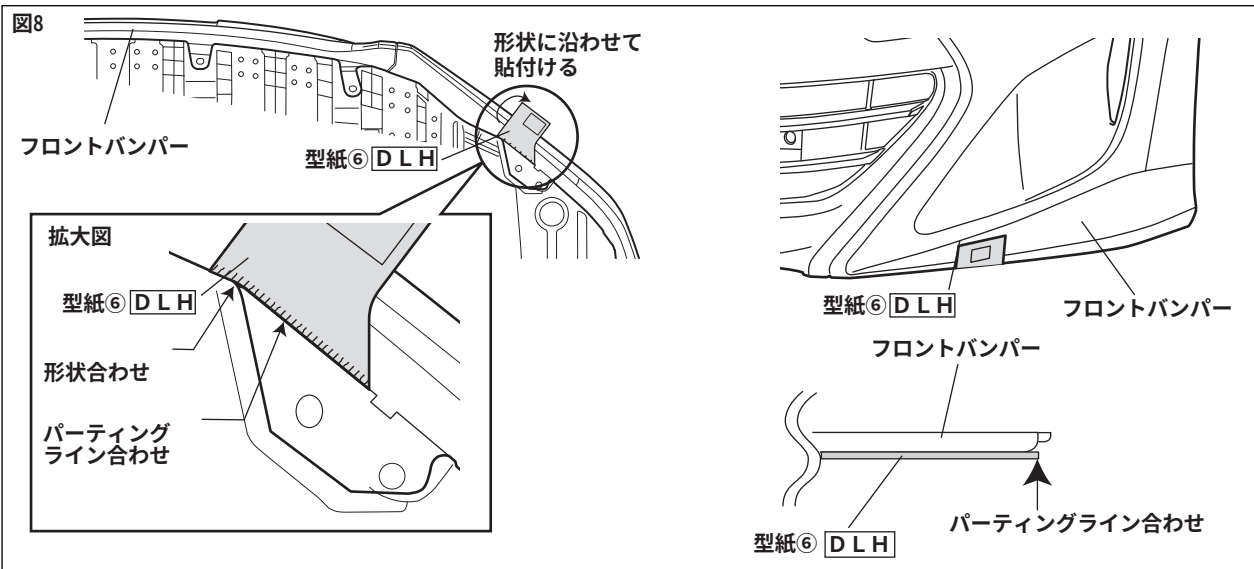
6. 図7のようにJナット②にゴムワッシャー⑤を貼付け、ホイールハウス部に差し込む。
(左右各2箇所)

注意：Jナット②の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー③が取付かなくなります。

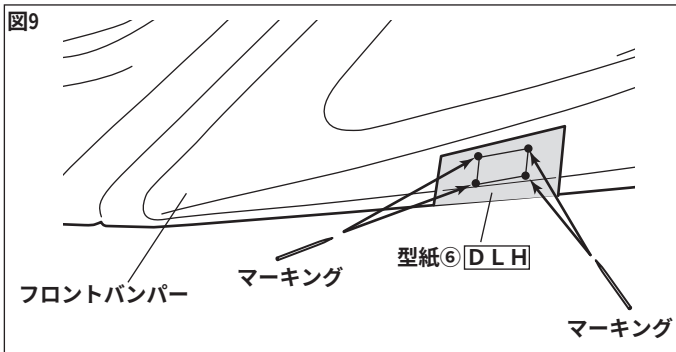
アドバイス：Jナット②が緩い場合は差し込み口を調整してから差し込んでください。

注意：LEDデイトタイムランプ取付けの場合、作業7、8、9を行ってください。
LEDデイトタイムランプ取付けが無い場合場合、作業10へお進みください。

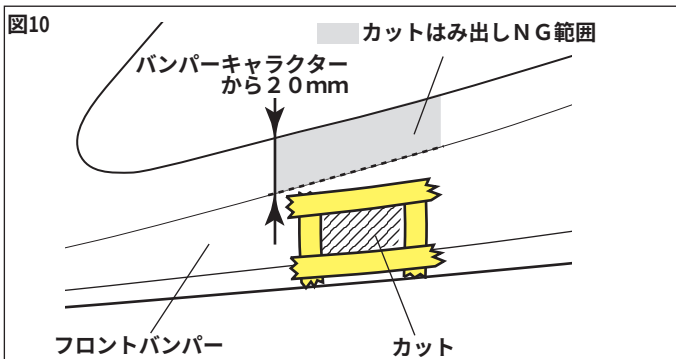
図8



7. 図8のように型紙⑥ DLH、DRHをフロントバンパーの下面形状に合わせ、フロントバンパーパーティングラインに沿わせながら貼付ける。
(左右各1箇所)



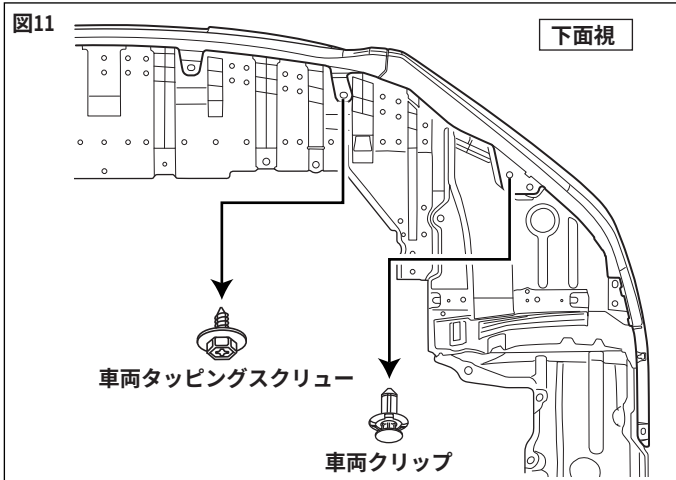
8. 図9を参考にフロントバンパーに貼付けた型紙⑥ [DLH]、[DRH]のバンパーカット位置をマーキングする。 (左右各4箇所)



9. 図10のように4箇所のマーキング位置を繋ぎ、カットはみ出しNG範囲にカット範囲が無いことを確認し、斜線部をエアソー等で切取る。 (左右各1箇所)

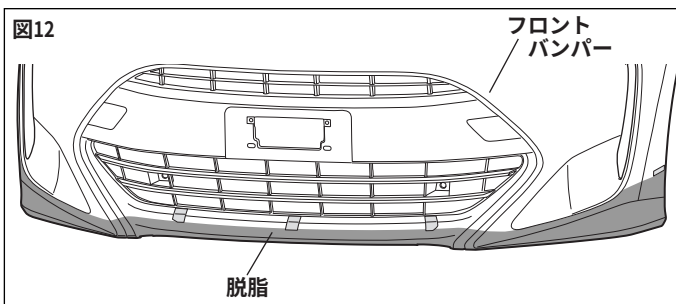
⚠ 注意：加工時、車両部品の取扱いに注意し、マーキング位置からズレのないようにしてください。

⚠ 注意：加工後、カット部のバリ、シャープエッジを取除いてください。



10. 図11のようにフロントバンパー下面を固定している車両タッピングスクリュー、車両クリップを取外す。 (左右各2箇所)

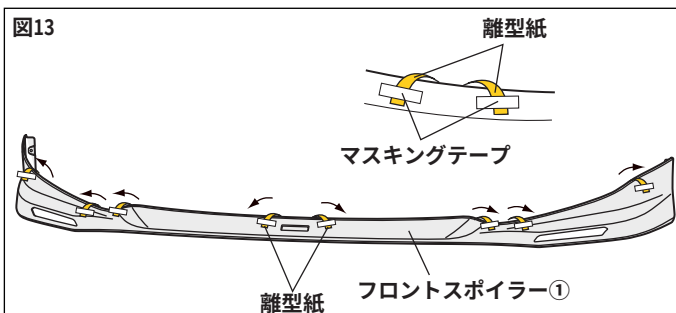
⚠ 注意：取外した車両タッピングスクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。



11. 図12のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

👉 アドバイス：脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

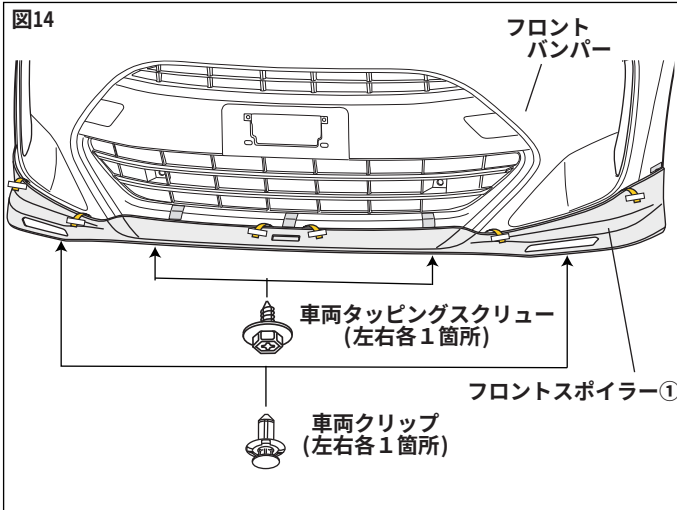
👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



12. 図13のようにフロントスポイラー①の両面テープの離型紙を中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。 (左右各4箇所)

⚠ 注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

★フロントスポイラー取り付け作業に進む前に、LEDデイトタイムランプ
取付要領に従いLEDデイトタイムランプの取付作業を行ってください。



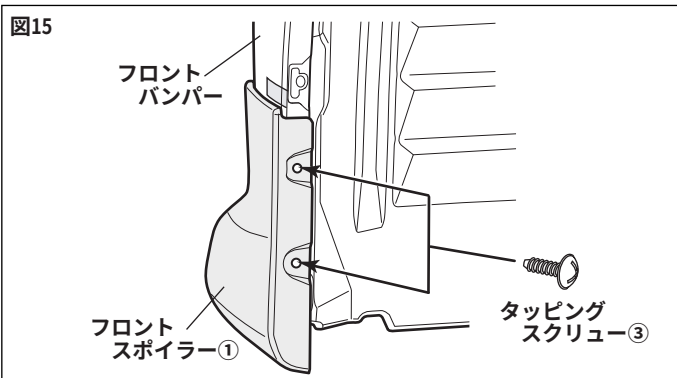
□取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

1. 図14のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、下面を車両タッピングスクリューで仮締め、車両クリップで固定する。(左右各2箇所)

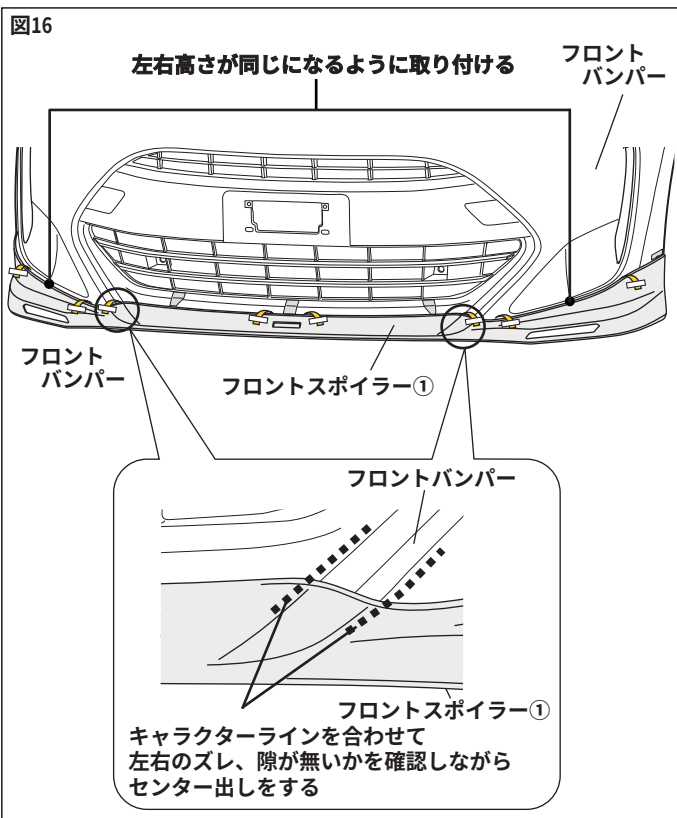
アドバイス: 本商品の取付けは、2名以上で作業を行ってください。又、ほこりのたたない屋内で行ってください。

△注意: フロントスポイラー①を取付ける際に、フロントバンパーに傷をつけないように作業してください。



2. 図15のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、ホイールハウス部をタッピングスクリュー③で仮締めする。(左右各2箇所)

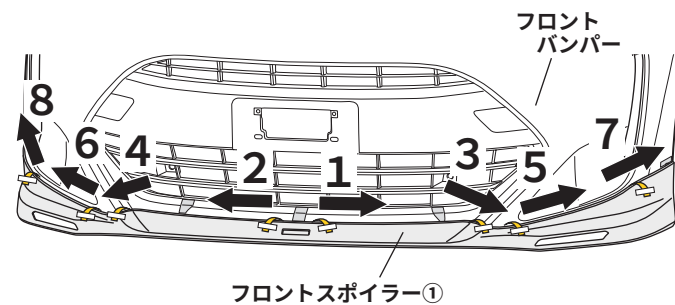
△注意: タッピングスクリュー③の仮締めは製品が動かない程度に軽く締め込んでください。



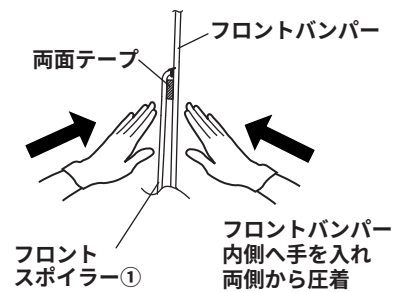
3. 図16のようにフロントスポイラー①の高さが同じになるようにする。

4. 図16のようにフロントスポイラー①をキャラクターラインに合わせて左右のズレが無いを確認する。

図17



圧着詳細図



5.(3)・(4)記載の位置に・スキ・高さを保持して、図17をのよう番号順に離型紙を剥がしながら貼付け、確実に圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

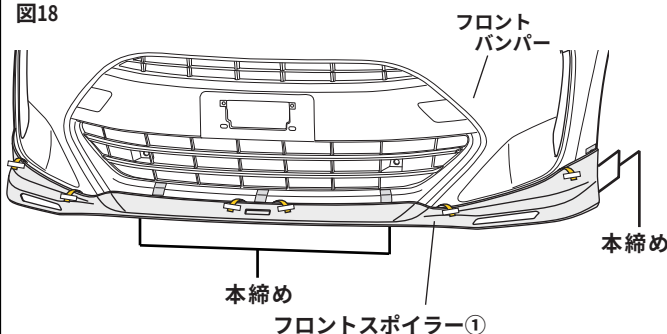
⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

図18



⚠ 注意：LEDデイトタイムランプ装着の場合は、下面部のスクリュー・クリップを一旦外してから配線のクランピング作業を行ってください。クランピング作業後に復元、本締めを行ってください。(LEDデイトタイムランプ取付要領書参照)

6. 図17のように仮締めしておいた車両タッピングスクリューを本締めする。
(左右各1箇所)

7. 図17のように仮締めしておいたオイルハウスのタッピングスクリュー③を本締めする。
(左右各2箇所)

👉 アドバイス：オーバートルクでの締め付けは、タッピングスクリュー・Jナットが破損する恐れがあります。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のフォグランプ及びLEDデイトランプの点灯点検を確認する。



81430-GR500 LEDデイトタイムランプ

取付・取扱要領書

この度はTRD LEDデイトタイムランプをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません。必ず車両登録後に行ってください。

■品番・適合一覧表

品 番	適 合	備 考
81430-GR500	MS341-28034/35	エスティマ '16.06～ マイナーチェンジ以降

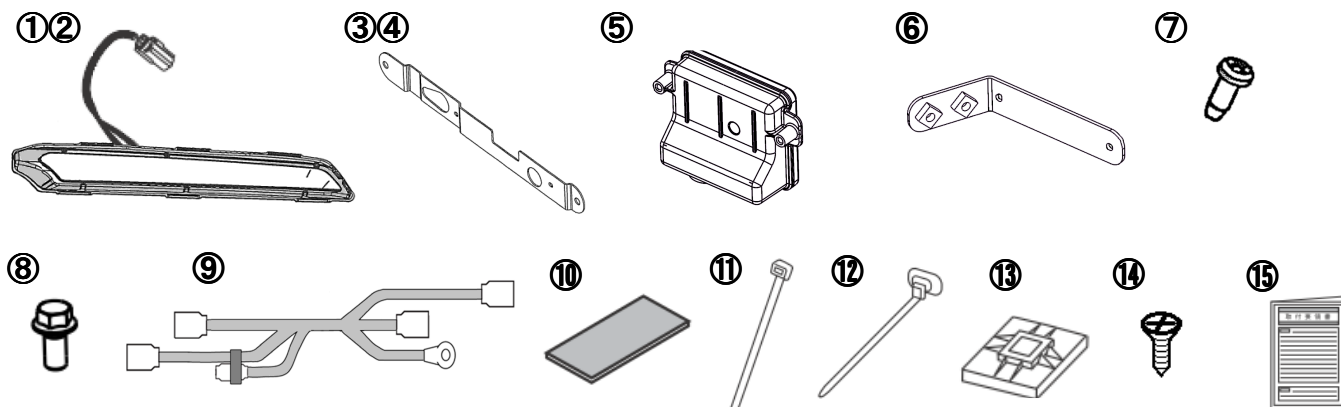
*本商品はフロントスポイラー（MS341-28034/35）に装着する専用部品となります。

*本書は、LEDデイトタイムランプを装着するための要領を記載しています。

■構成部品

No.	部 品 名	個 数	備 考
①	LEDランプ RH	1	
②	LEDランプ LH	1	
③	ランプリテナーRH	1	LEDランプ用
④	ランプリテナーLH	1	LEDランプ用
⑤	ランプユニット	2	左右共通
⑥	ユニットブラケット	2	左右共通
⑦	タッピングスクリュー	8	M4×10 ランプ・ユニット共通
⑧	フランジボルト	4	M6×L16
⑨	ハーネス	1	エンジンルーム用
⑩	スポンジテープ	4	50×100
⑪	結束バンド	13	L=150
⑫	クランプ付き結束バンド	2	
⑬	結束バンドベース	7	20×20
⑭	タッピングスクリュー	2	3×10（皿ビス）
⑮	取付・取扱要領書	1	本書は大切に保管してください。

■構成部品図



取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）

ご使用になる前に必ずお読みいただき、正しいお取扱いをお願いいたします。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。



注意

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を受けたり、物的損害の可能性のある内容について書かれています。



やってはいけないこと



必ずおまもりいただきたいこと



警告

- 本商品への加工や改造は絶対に行わないでください、破損や事故の原因となります。
- ❗ 本商品を装着後に衝突や強い衝撃を受けた場合、取付け部位や本体に変形・破損・故障が生じる場合がありますので、直ちに使用を中止して、専門の修理工場かトヨタの販売店にて点検を受けてください。
- ❗ ご使用中に異常な振動や異音を感じたら、直ちに安全な場所にクルマを停車して専門の修理工場かトヨタの販売店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、クルマの破損や重大な事故の原因になります。
- ❗ 本商品は舗装道路での走行を想定して作られています。悪路や雪道での走行時は、速度を十分に落として注意して走行してください。
- ❗ 本商品は、通常のご使用において十分な強度・耐久性を持たせてありますが、お取り扱い方法や走行条件によっては、破損や故障が発生する場合があります。本書の注意事項をまもってご使用ください。
- 本商品の近くに高温になるものや、裸火を近づけないでください。変形や火災などの原因になります。



注意

- ❗ 本商品は保安基準に適合しておりますので、車検の際も通常の検査と同様にお受けいただけます。ただし、その他の部位を改造している場合など、車両の状態によりその限りではありません。
 - ❗ お手入れの際に、シンナー・ガソリン・ベンジン等の有機溶剤は絶対にご使用にならないでください。製品の変形や塗装のハガレなどの不具合の原因になります。
 - ❗ 洗車の際は、ゲート式洗車機や高圧洗浄機（スチーム等）などのご使用はお控えください。ご使用されますと製品の取付け部に無理なチカラが掛かり、ハガレやウキ・破損の原因となります。
 - ❗ フラップ式（跳ね上げ式）のコインパーキングなどにクルマを駐車する際は、駐車場のフラップ板が製品に干渉しないか十分に確認してください。干渉があると破損の原因となる場合があります。
 - ❗ 本商品を装着した場合、地上高や外装が標準車と異なりますので、道路の縁石や駐車場の輪留めなどに干渉する場合があります。クルマの取り回しには十分にご注意ください。
 - ❗ 洗車時や車の乗り降りの際、保管環境等で、製品に無理なチカラや荷重が掛からないようにご注意ください。製品のハガレやウキ・破損の原因となる場合があります。
 - ❗ 寒冷時の走行や海辺などを走行した際に、クルマに融雪剤（塩化カルシウム等）や塩分が付着した場合は、お早めに洗浄除去するようにしてください。付着したままにするとシミやゴム類の劣化の原因になります。
 - ❗ 走行や取扱いにより発生した外的要因（*1）が原因の製品不具合や、それにより車両本体等への損傷が発生した場合のクレームには応じかねます、あらかじめご了承ください。
- （*1） 飛石・塩害・酸性雨・鉄粉・鳥糞・煤煙・降灰・薬品等の飛沫 及び、台風・水害・高潮・地震噴火等の天災などの事故

■ 本商品は1年・20,000kmの保証を実施いたします。（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※ 保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

■ 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

取付け・取扱い上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みのうえ、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。



注意

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を受けたり、物的損害の可能性のある内容について書かれています。



アドバイス

スピーディに作業していただくうえで知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行うこと



警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。
破損や故障により重大な事故の原因となる可能性があります。
- ❗ 取付け作業は、必ずエンジンやマフラーなどが冷えていることを確認して行ってください。
エンジンルームやマフラーなどが熱い状態での作業は、ヤケドや思わぬケガをするおそれがあります。
- ❗ 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止して、車両が動かないことを確認して行なってください。
予期せずに車両が動き、体を挟むなどの重大な事故の原因となります。
- ❗ 取付けの際は、規定トルクに従って、取付けボルト・ナット類を締付けてください。
取付け時に緩みがあると徐々に緩んで、脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。
また締付トルクが過大だとボルトやナットを破損するおそれがあります。
- ❗ 取付け後、本商品と車両や車両部品との干渉が無いことを確認してください。

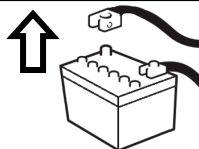


注意

- ❗ 本商品の取付け・交換は必ずトヨタ販売店及び、専門の修理工場にて行ってください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部を保護材にて養生をしたうえで作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ⊖ 本商品の取付けで清掃・脱脂の際にシンナーやベンジン等の、有機溶剤の使用は絶対に行わないでください。
変色や変形の原因となります。
- ❗ 脱脂作業を行う際は火気に十分注意し、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）をご準備いただき確実な脱脂（油脂分の除去）を行ってください。上記以外のパーツ・ブレーキクリーナー等、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。ハガレやウキの原因となります。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、乾燥温度にご注意ください。乾燥温度が70℃以上の場合、製品に変形やワレが発生しますので十分に注意してください。強制乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
取付けの際は作業環境と製品・車両の表面温度が20℃以下にならない環境で作業してください。
温度が低い時は製品と車両の表面温度が20度以上になるように暖めて、取付け作業を行ってください。
- ❗ 両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要になります。製品の取付け後は、最短3時間程度は、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。
- ⊖ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品のハガレやウキなどの不具合の原因になります。

LEDデイトイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



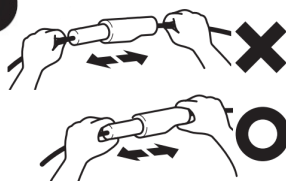
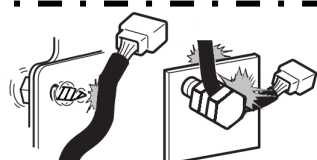
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



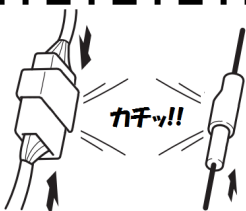
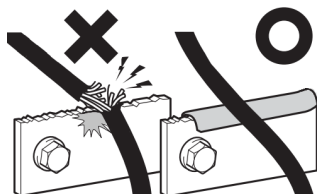
部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。
- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

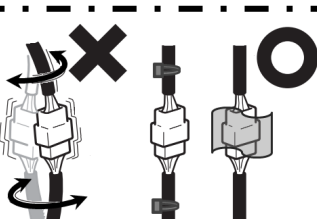


配線の取りまわしは

- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。
- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした端末が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意



バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

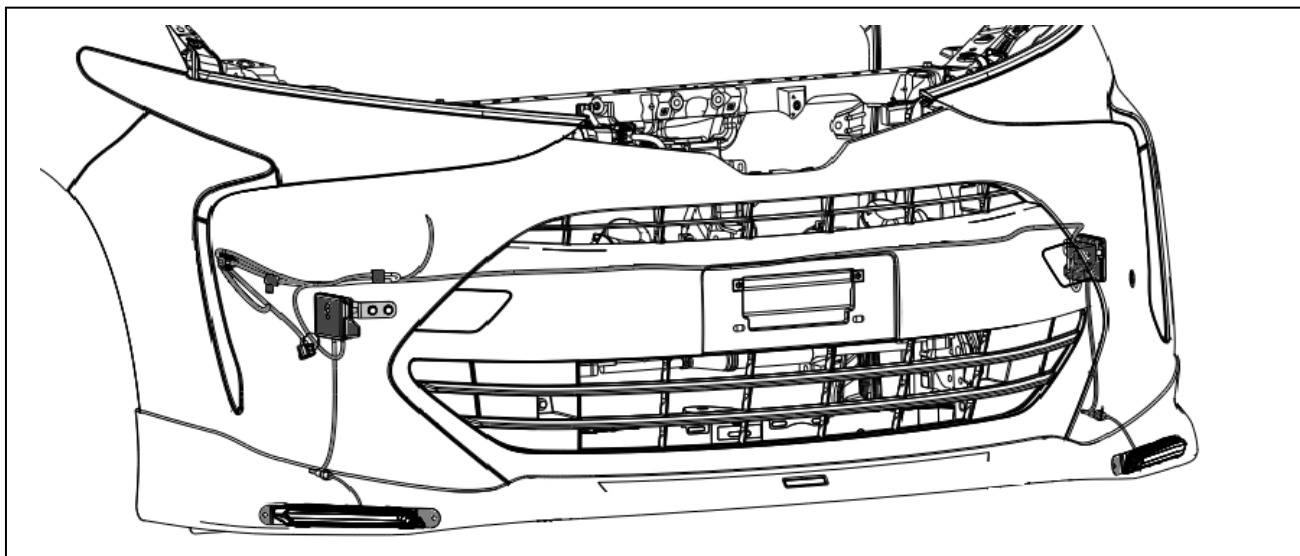
■目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図	1
2. 取扱い上のご注意(お客様へ)	2
3. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ)	3
4. 配線取付け上の注意	4
5. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、配線概要図	5
6. 取付け要領	6～13
7. 取付け後の確認・点検	13
8. 回路図	14

■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・ドリル・キリ
- ・ 保護シート・保護テープ・ビニールテープ
- ・ ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA)・清潔なウエス

■配線概要図

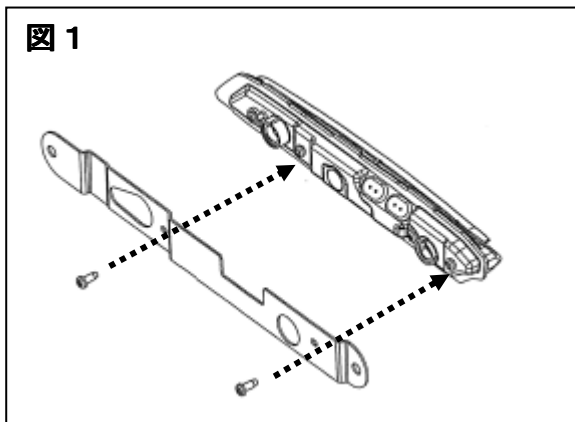


■ LEDデイタイムランプ取付けについて

下記は、LEDデイタイムランプの取付け準備・配線取廻し作業を記載しています。

該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

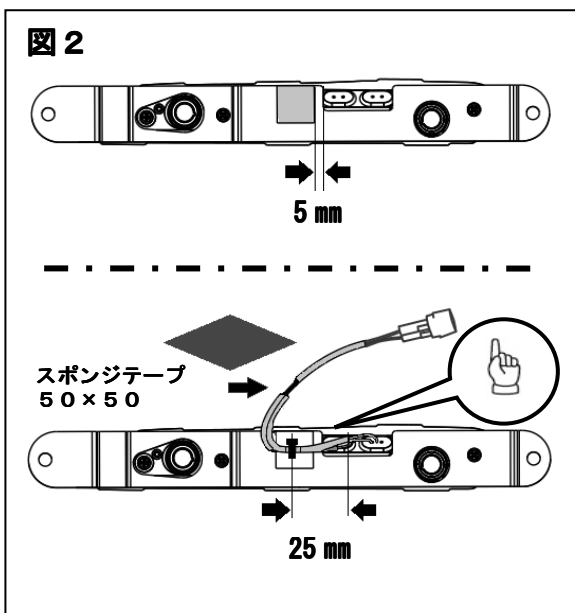
図 1



□取付け準備

1. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーカバーを取外す。
2. 図1のように、LEDランプ①②にランプリテーナー③④をタッピングスクリュー⑦2本で組付ける。(左右各1個)

図 2



3. 図2のように、ランプリテーナーに結束バンドベース⑬を脱脂をして貼り付ける。(左右各1個)
4. 図2のように、LEDランプ配線の分岐部(保護チューブの無い部分)にスポンジテープ⑩を巻き貼りつける。
※スポンジテープ1枚を半分(50×50)に切って使用する。(左右各1枚)
5. 図2のように、LEDランプ配線を25mm程度の位置で結束バンドベースに結束バンド⑪を使用して固定する。(左右各1箇所)

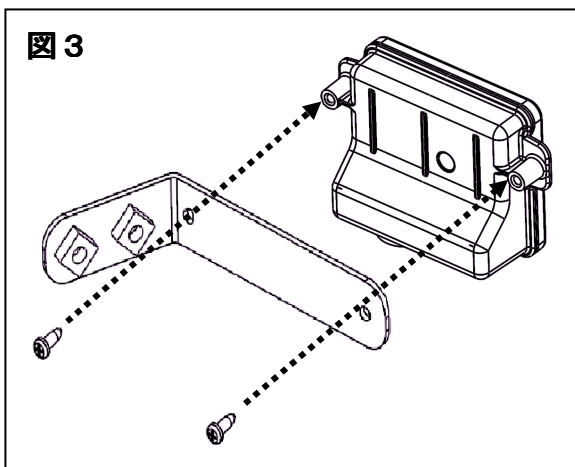


ポイント

ランプリテーナー端部にLEDランプの配線が干渉が無いように、余長を調整して配線を固定してください。

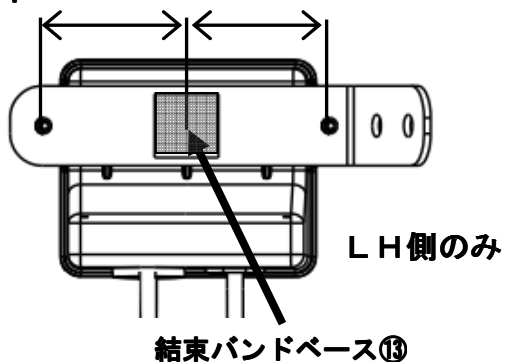
参考寸法 25mm

図 3



6. 図3のように、ランプユニット⑤にユニットブラケット⑥をタッピングスクリュー⑦2本で組付ける。
※ブラケットの向き左右対称になる様に組み付けること。(左右各1個)

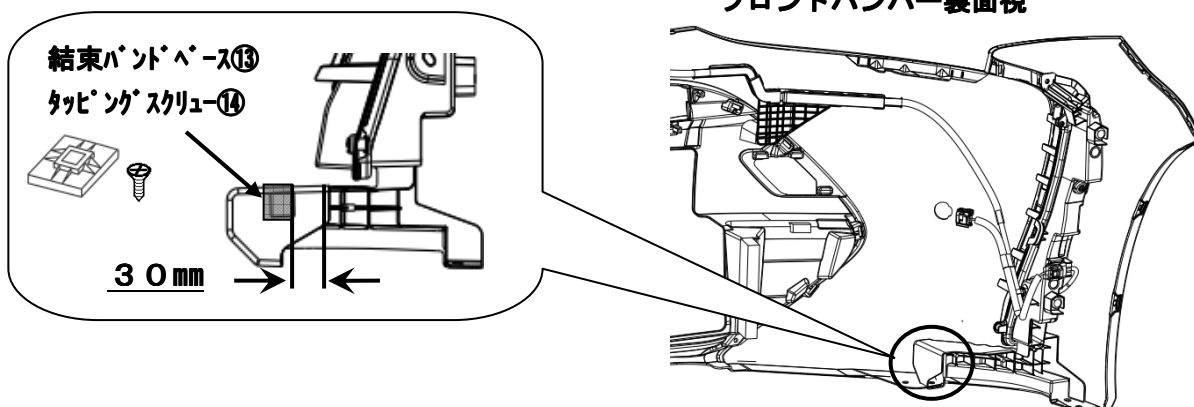
図 4



7. 図4のように、ユニットブラケットLHの中央部に結束バンドベースを、脱脂をして貼り付ける。
(LH側のみ)

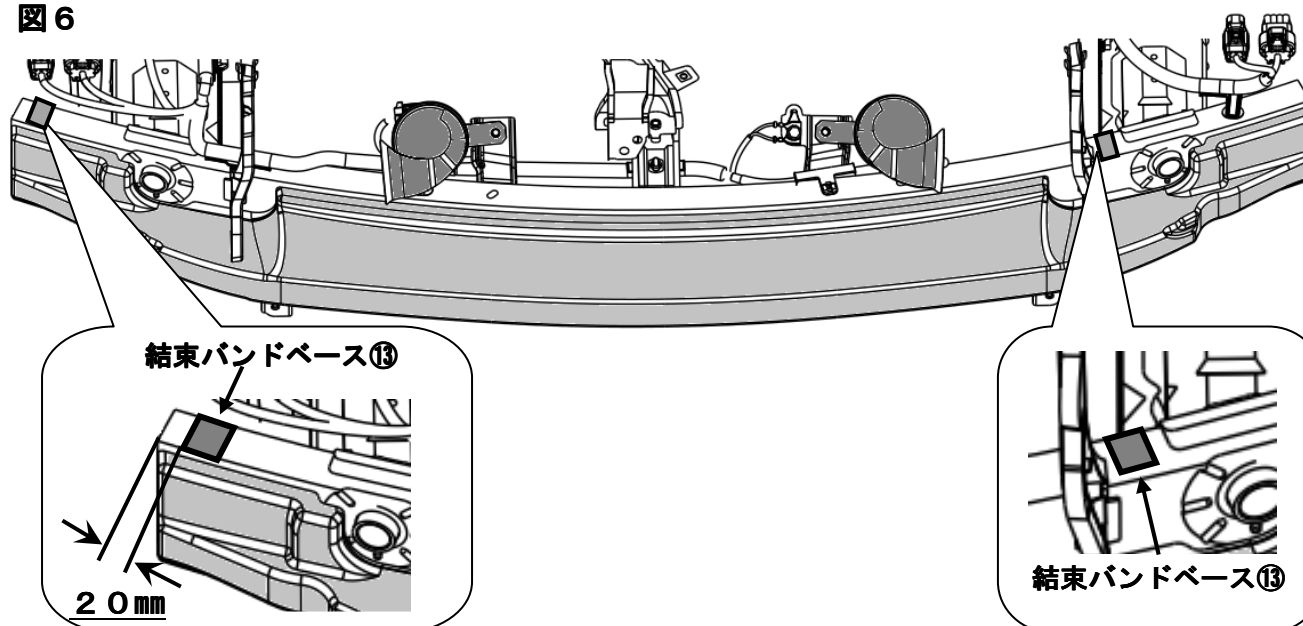
8. 図5のように、フロントバンパー裏の指示部に結束バンドベース⑬を、脱脂をして貼り付けて、結束バンドベース中央をタッピングスクリュー⑭で固定する。
(左右各1個)

図 5



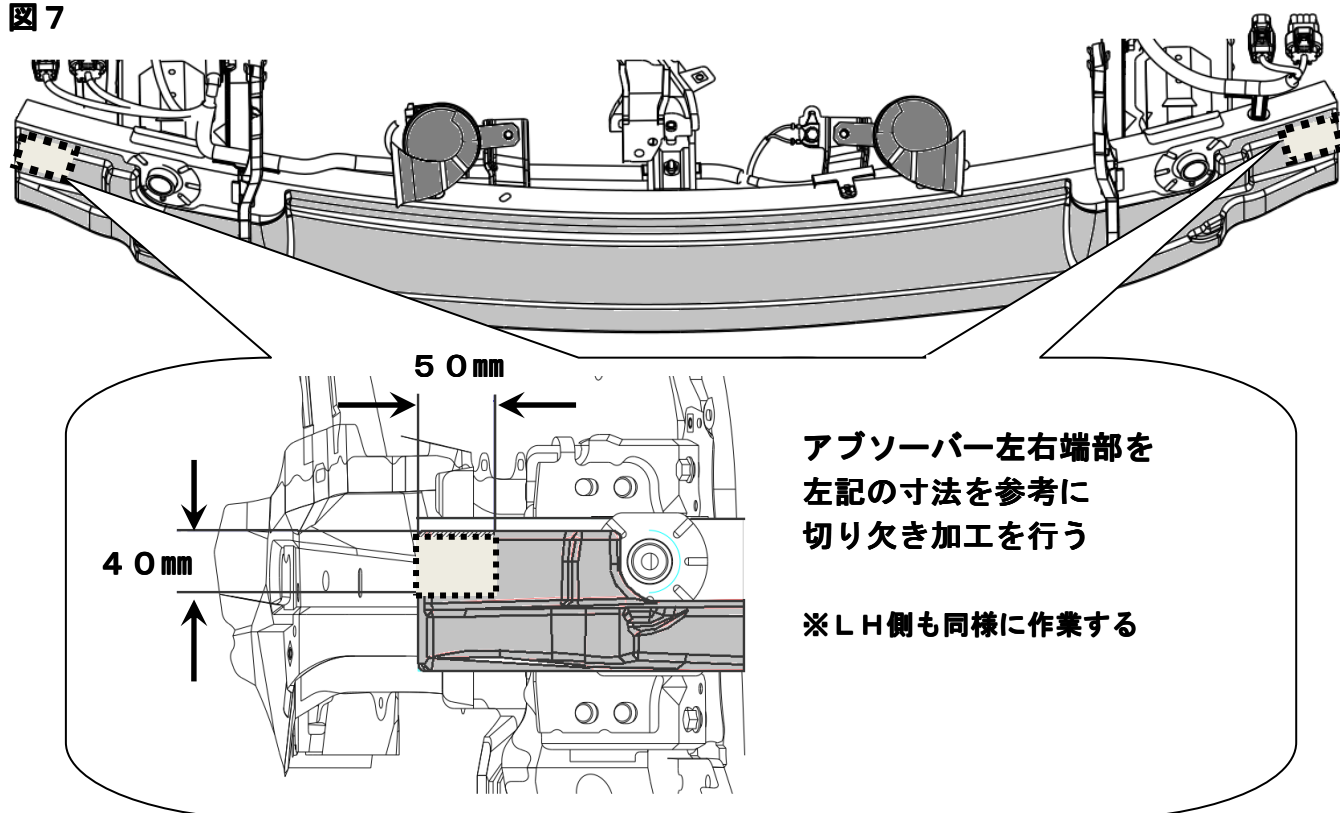
9. 図6のように、バンパーラインホースの指示部に結束バンドベース⑬を、脱脂をして貼り付ける。
(左右各1個)

図 6



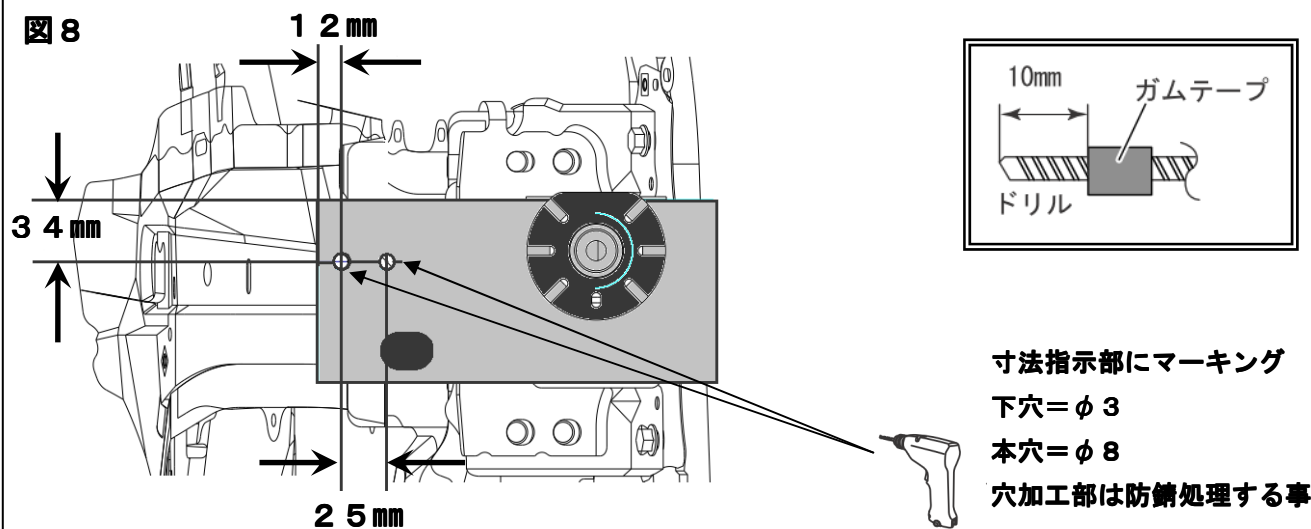
10. 図7のように、アブソーバーの指示部をカッター等で切り欠き加工する。 (左右各1箇所)

図7



11. 図8のように、フロントバンパーラインホースよりアブソーバーを取外し、寸法指示部にマーキングをする。 (左右各2箇所)
12. 図8のように、 $\phi 3 \cdot \phi 8$ のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ $\phi 3$ のドリルを使用してフロントバンパーラインホースメントのマーキング位置に下穴をあける (左右各2箇所)
13. 図8のように、下穴をあけた部位に $\phi 8$ のドリルを使用して本穴をあけて穴のバリを取除く。 (左右各2箇所)

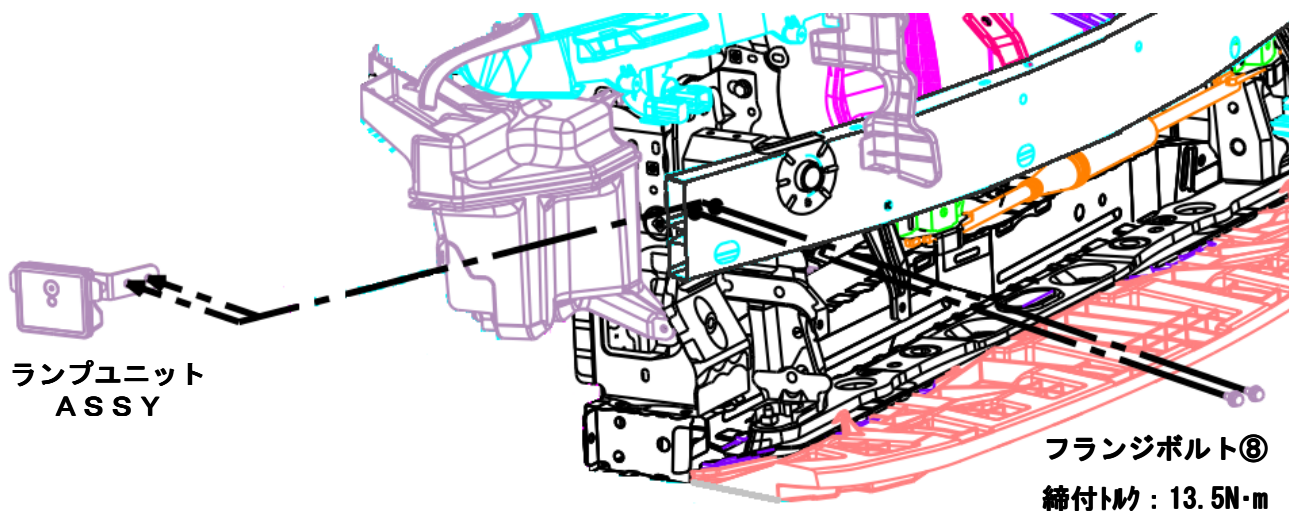
図8



□ ユニット・ハーネスの取付け

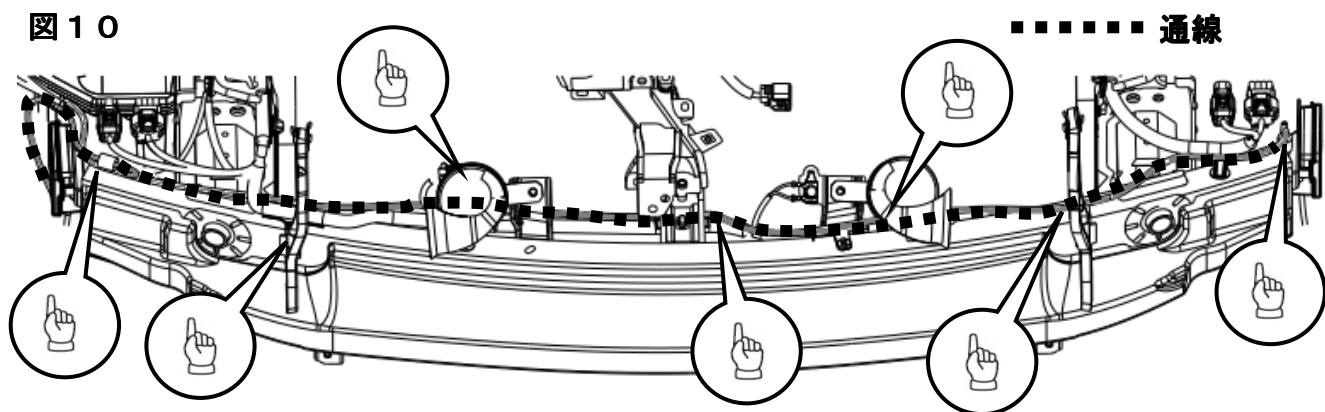
1. 図9のように、フロントバンパーラインホースメントの穴加工した部位にランプユニットASSYをフランジボルト⑧を使用して規定トルクで組付ける。 （左右各1個）【締付トルク：13.5N・m】

図9



2. 図10のように、フロントバンパーラインホースメント上側の車両ハーネスに沿わせてハーネス⑨を通し、ユニットASSYのコネクターと接続させる。 （左右各1箇所）
3. 接続したコネクターに、スポンジテープ⑩を巻きつける。 （左右各1箇所）

図10

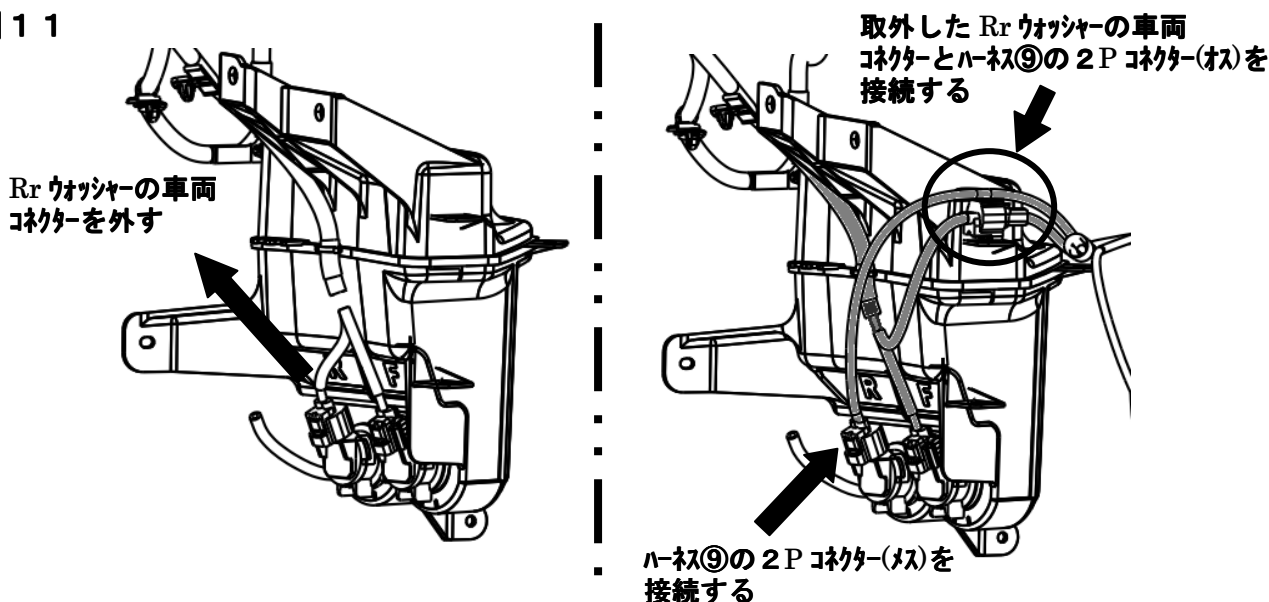


ポイント

- ・ワイヤーハーネスの通線は、車両ハーネスと同様の位置を通してください。
- ・左右エアガイド部はラインホースとエアガイドの間を通してください。
- ・ホーン取付け部・ロックサポート部はハーネスがエッジに干渉しないように注意してください。
- ・コネクターのスポンジテープ貼付けは後作業の固定時に必要になります。必ず貼り付けてください。

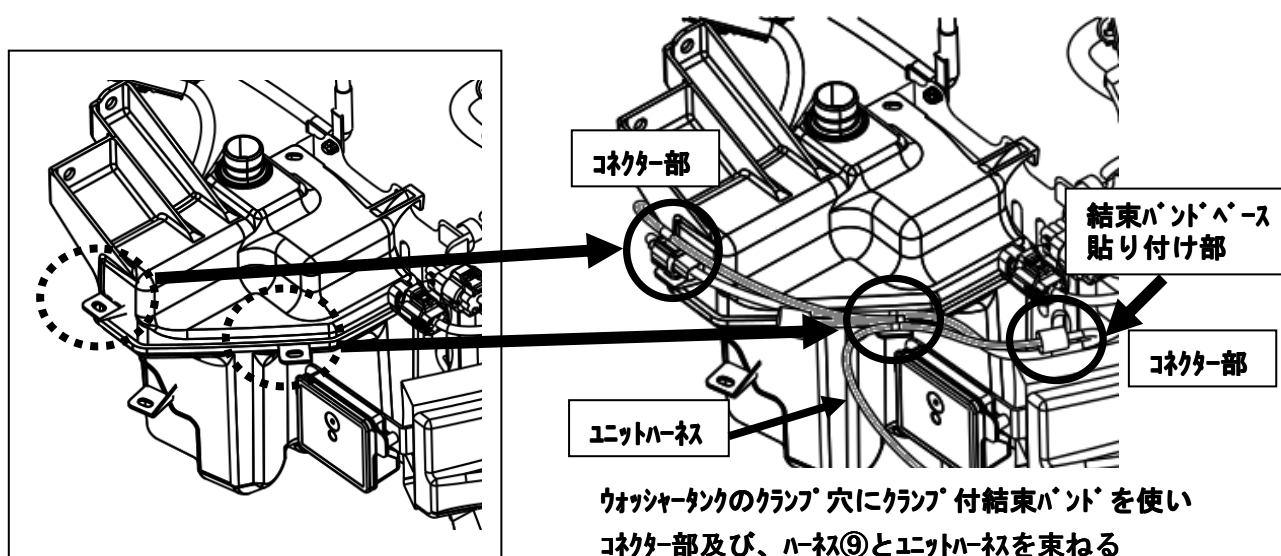
4. 図11のように、Rrウォッシャーモーターの車両コネクターを外してハーネス⑨の2Pコネクター(メス)をRrウォッシャーモーターコネクターに接続する。
5. 図11のように、作業4ではずした車両コネクターをハーネス⑨の2Pコネクター(オス)に接続しコネクター部をスポンジテープ⑩を巻きつける。

図 1 1



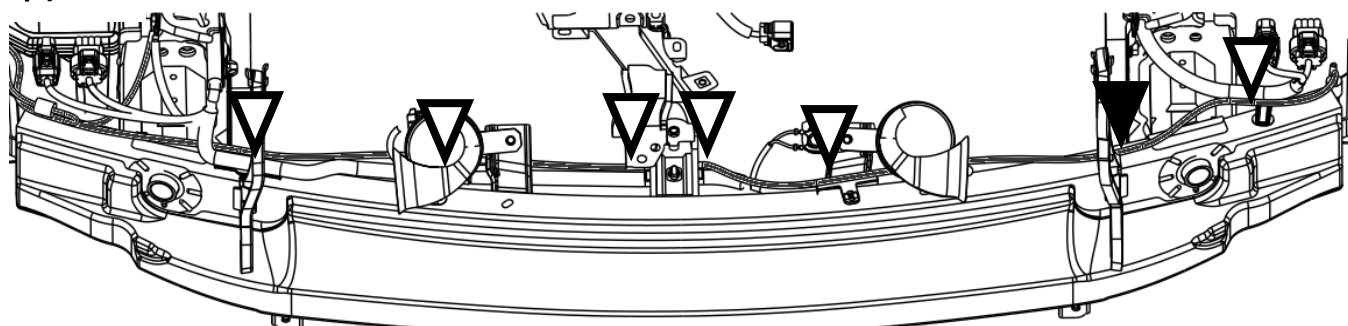
6. 図12のように、ウォッシャータンクのクランプ穴(楕円)とクランプ付き結束バンド⑫を使用してコネクター部及び、ハーネス⑨とユニットハーネスを束ねて固定する。
7. 図12のように、取付け準備作業で貼り付けた結束バンドベースにハーネス⑨RH側のコネクター部を結束バンド⑫を使用して固定する。

図 1 2



8. 図13のように、ハーネス⑨を結束バンド⑪を使用してフロントバンパーラインホース上側、車両ハーネスのクランプ部に固定する。 (6箇所)
9. 図13のように、取付け準備作業9. で貼り付けた結束バンドベースにハーネス⑨を結束バンド⑪を使用して固定する。 (1箇所)

図13

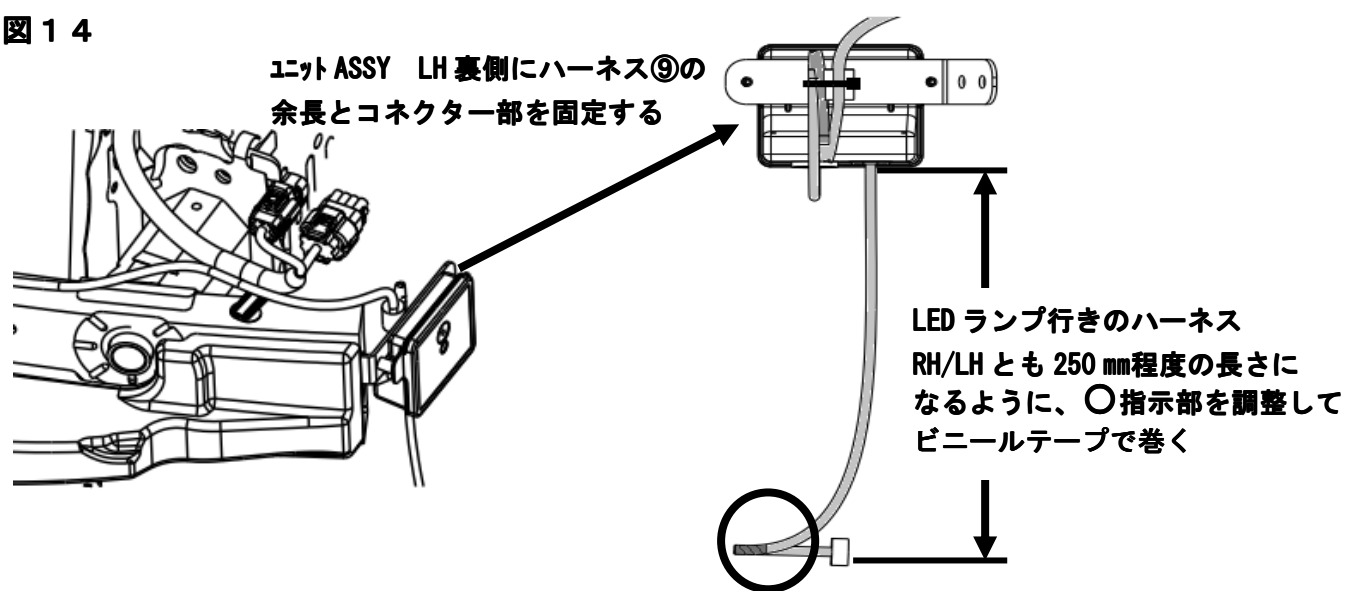


▽ 車両ハーネスのクランプ部に結束バンド⑪で固定 【6箇所】

▽ 結束バンドベースに結束バンド⑪で固定 【1箇所】

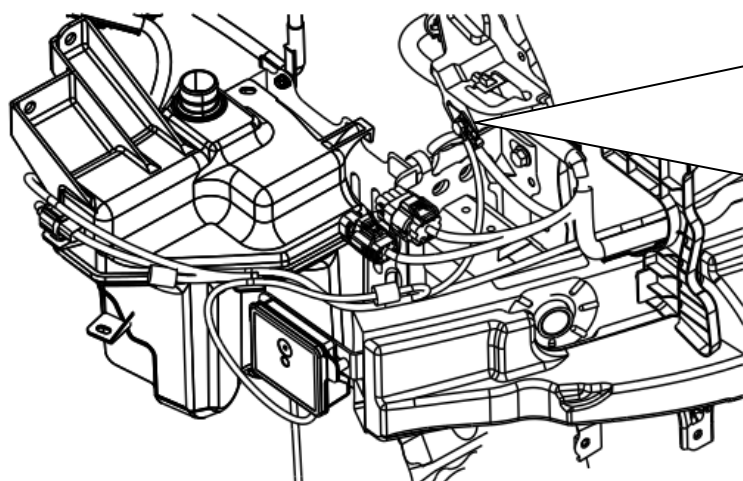
10. 図14のように、ユニットASSY裏側に、LH側のみハーネスの余長とコネクター部を結束バンド⑪を使用して固定する。
11. 図14のように、LEDランプ行きのハーネスRH/LHとも250mm程度の長さになる様にビニールテープで巻く。 (左右各1箇所)

図14



12. 図15のように、ハーネス⑨のアース線丸端子を車両アースポイントのボルトを外し
車両ハーネスのアース線と共締めで、規定トルクで締付ける。 **【締付トルク：8.5 N・m】**

図15



車両アースポイントに
共締め

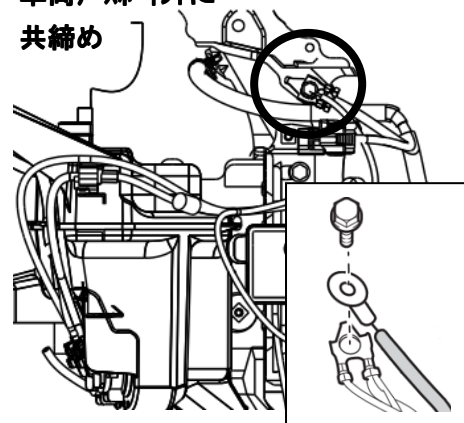
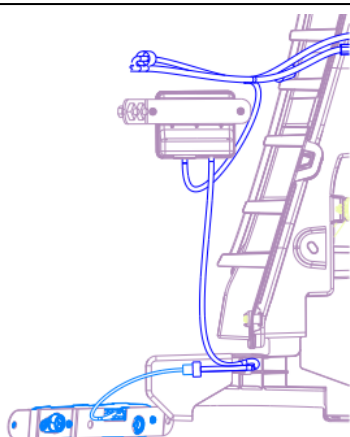


図16

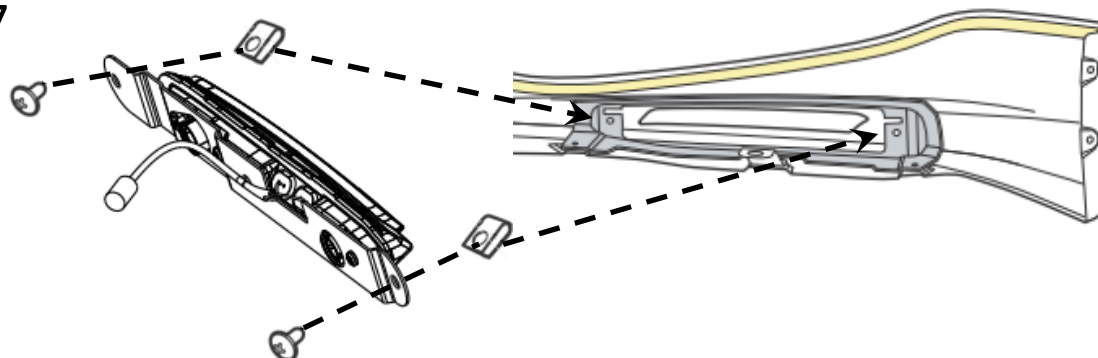


13. 図16のように、LEDランプ①②をハーネス⑨に
仮接続してバッテリー⊖ターミナルを繋ぎ
LEDランプの点灯点検を行う。
14. 点灯点検の確認後、バッテリー⊖ターミナルを外し、
LEDランプ①②をハーネス⑨より外す。

□ LEDランプの組付け

1. 図17のように、フロントスポイラー同梱のJナットをフロントスポイラーに組付ける。
2. LEDランプ①②をフロントスポイラー同梱のタッピングスクリューを使用して、フロントスポイラーに組付ける。

図17



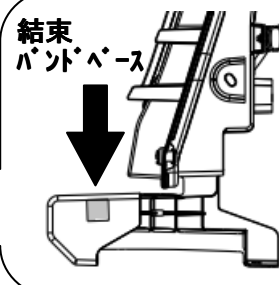
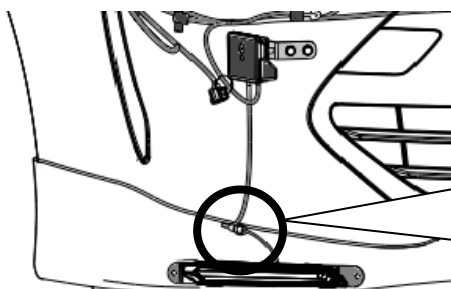
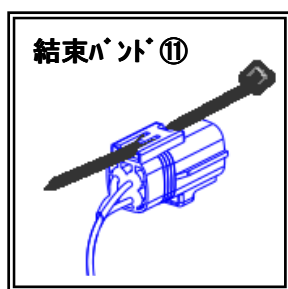
**LEDランプをフロントスポイラーに組付けた後に
フロントスポイラー取付要領書に従い、フロントスポイラーを
車両に取付けてください。**

※フロントスポイラー取付け後に、再度LEDランプの点灯確認を行ってください。

□ スポイラー取付け後のハーネスの固定作業

- ・ フロントスポイラー下面のアンダーカバーを外し、LEDランプ接続部のコネクタに、下図のように結束バンド⑪を通し、LEDランプとハーネス⑨のコネクタを接続する。
- ・ フロントバンパー裏側に、取付け準備作業8. で取付けた結束バンドベースにハーネスを固定する。
- ・ ハーネス固定後に、アンダーカバーを復元する。

結束バンド⑪



すべての作業が完了後、⊖バッテリーターミナルの本締め・各種再設定・ダイアグの消去を
修理書に従い行ってください。

【⊖バッテリーターミナルの締付けトルク：5.4 N・m】

■ 取付け後の確認・注意事項

1. タッピングスクリュー・ナットが確実に、締付けられていることを確認する。
2. ハーネスに無理な力がかかっていないか、噛み込みや鋭利なエッジ部に干渉が無いことを確認する。

回路図

